

## 大阪・関西万博静岡県ブース「GEO KITCHEN SHIZUOKA」をテーマにした アイデア創出ワークショップを行いました。

静岡の食と自然の魅力を体感できる「ジオキッチン静岡」が、2025年6月6日（金）～8日（日）の3日間限定で大阪・関西万博にて開催されます。

今回、若者視点のアイデア創出を目的とした「静岡県ブースを訪れた外国人に静岡茶の魅力を伝える方法」を考えるワークショップに静岡キャンパス建築設備科の2年生9名と沼津キャンパス情報技術科の1年生3名が参加しました。

2025年1月24日に行われた1回目は静岡キャンパス 建築設備科の2年生9名が参加しました。2つのチームに分かれ、マーケティング手法であるSWOT分析を用いて、静岡茶の強みや弱み、静岡茶の競合について調べ、自由にアイデアを出し合いました。

はじめは、普段意識していない静岡茶について考えることに苦戦している様子でしたが、チームでディスカッションをしていくなかで、静岡茶が身近にあることに気づき、お茶を飲むリラックス効果や静岡茶の豊かな香りなどが「強み」として出てきました。一方で、学生ならではの視点で水ブームによるお茶離れや作り置きできないことによる不便さなどが「弱み」として出ていました。

さらに、具体的に「静岡県ブースを訪れた外国人に向けて静岡茶の魅力を発信するにはどうしたらいいか」を考えていくと、海外の文化である香水とお茶をかけ合わせた「茶香水」や、日本のアニメ文化とお茶をかけた「お茶のキャラクター」など、飲用以外にも楽しいアイデアが出てきました。

チーム内のディスカッションでアイデアが膨らんでいく様子も見られ、時間いっぱいまで活発な意見が出される中、最後はそれぞれチームで出たアイデアを発表し、記念撮影をして終了しました。

1月31日に行われた2回目は沼津キャンパス 情報技術科の1年生3名が参加しました。静岡キャンパスと同様にSWOT分析を用いて行いました。祖父と一緒にお茶を飲むというエピソードから家族団欒にお茶が役立っていることやお茶畑の景観の美しさなど静岡キャンパスとはまた違った角度の「強み」が出てきました。また、「弱み」としてはやはり急須の不便さやお茶離れなど静岡キャンパスと共通の意見が多く見られました。

最後の発表では、女性視点のお茶の葉や実のアクセサリや景観として楽しむオリジナルの茶室やお茶畑のプラネタリウムなどワクワクするアイデアが出てきました。

このようなワークショップを通して、学生たちにとってマーケティングを学ぶきっかけや国際的イベントである大阪・関西万博に関わる貴重な経験となりました。



静岡キャンパス 建築設備科 2年生 9名がディスカッションしている様子



アイデアを発表している様子



ワークショップ終了後の記念撮影



沼津キャンパス 情報技術科 1年生 3名が  
大阪・関西万博静岡県ブース「GEO KITCHEN SHIZUOKA」について学ぶ様子



アイデアをディスカッションし発表する様子



ワークショップ終了後の記念撮影